

整理番号	15-19	事務事業名	千歳地方食品衛生協会補助事業		作成部署	市民環境部 市民生活課		電話	内線825
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	滝本 明	課長職名	武田 隆	作成日	平成17年6月	
事務事業開始年度	S37		根拠法令等						
〃 終了予定年度									
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	千歳地方食品衛生協会は、飲食に起因する伝染病、食中毒、その他の危害の発生を防止し、食品の品質の向上並びに業界の発展、公衆衛生の増進のため設立され、市ではその活動の内、食品衛生の指導・啓蒙事業に対し補助金を交付している。								

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	安全で安心できるまち	(第 1 章)
	節	消費生活	(第 6 節)
	施策	消費者教育活動の推進	(第 1 施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	千歳地方食品衛生協会会員(食品を扱う者)	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	会員の自覚意識を高揚し、自主管理体制の確立を図り、食品衛生の向上に資し、もって地域住民の保健衛生に寄与する。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	補助金交付(90,000円) 食品衛生指導員の巡回指導(年3回) 食品衛生責任者講習会(年3回) 食品衛生啓蒙事業(広報・街頭PR等)
		17年度	補助金交付(90,000円) 食品衛生指導員の巡回指導(年4回) 食品衛生責任者講習会(年3回) 食品衛生啓蒙事業(広報・街頭PR等)

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	3市・補助金				
	補助事業費				
	一般財源	90	90	90	90
	合計	90	90	90	90
人件費(概算)	人数(年間)				
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	0	0	0	0
総事業費 +		90	90	90	90

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	巡回指導(内北広島市分)	11回(3回)	11回(3回)	11回(4回)	11回(4回)
	食品衛生責任者講習会	3回	3回	3回	3回
	食中毒予防啓蒙活動	7/1~8/31	7/1~8/31	7/1~8/31	7/1~8/31
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	巡回指導件数(内北広島市分)	1,438件(303件)	1,556件(243件)	1,556件(243件)	1,556件(243件)
	講習会参加人数	180人	165人	180人	180人
	街頭PR活動	1回	1回	1回	1回
	食中毒警報周知活動	随時	随時	随時	随時
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)					

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	食品衛生に関する意識の向上は、今後も重要な課題である。
---------------------------------	-----------------------------

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	当事業は、協会の特別会計として3市会員(北広島市・千歳市・恵庭市)の協力の基、市・国・道の補助金で実施しており、妥当である。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	協会会員の食品衛生に対する意識の向上は、市民の安全を確保することであり、妥当である。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	協会で実施する事業に補助金を交付しており、妥当である。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない		

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	事業の性質上、成果は明確には現れないが、一定の成果はあるものとする。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	補助金の交付であるため、他に手法はない。	

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

	判定	今後の方向性や改善方法など
【1次評価】 事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	事業のうち巡回指導には国・道費補助金も充当されている。会員の食品衛生に対する意識の向上、食品を扱う会員に対する食品衛生・食中毒予防の意識向上に寄与しており、消費者の食の安全に大きな効果があるので、現状のまま継続する。
【2次評価】 行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	1次評価のとおり

付 表

補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

整理番号	15 - 19
------	---------

【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	千歳地方食品衛生協会補助事業		
交付先の名称及び代表者名	千歳地方食品衛生協会 会長 村井茂信	設立年	S37
構成員(団体)数	2,690団体 (17年3月末現在)		
交付先団体等の活動目的	飲食に起因する伝染病・食中毒・その他の危害の発生を防止し進んで食品の品質その他の向上並びに業界の発展を図り、公衆衛生の増進に寄与する。		
交付先団体等の活動内容	食品衛生思想の普及・食品衛生指導員の巡回指導・食品衛生の自主管理体制の推進・会員の営業施設、設備、使用器具の改善指導・会員、従業員の健康保持増進・食品衛生に関する調査研究と相談・食品衛生優良施設並びに優良従業員の表彰		
事務局の状況(15年度)	補助団体にある	市役所にある	
補助金等の充当状況(16年)	運営費のみに充当	事業費のみに充当	運営費・事業費の双方に充当

【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位:千円)

	区 分	15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	
収 入	本市補助・交付金の額(A)	90	90	90	
	国・道・市補助金	410	410	410	
	補助事業費		56	450	
	諸収入				
	その他(研修負担金)				
	繰越金				
		収入合計(B)	500	556	950
支 出	食品衛生街頭PR		90	90	
	巡回指導		284	513	
	会場費		19	100	
	事務費		113	40	
	通信運搬費		27	20	
	印刷費		23	37	
	旅費交通費			30	
	備品費			120	
		支出合計(C)	500	556	950
繰越金	収入(B) - 支出(C)	0	0	0	
全体支出に対する本市補助・交付金の割合(A)÷(C)		18 %	16 %	9 %	
補助・交付金の対象経費(項目)					
補助・交付金の対象経費(金額)(D)		500	556	556	
対象経費に対する補助・交付金の割合(A)÷(D)		18 %	16 %	16 %	
補助・交付金の算出根拠	北広島市・千歳市・恵庭市の3市で人口と業者数の割合で按分				